

「新老人の会」東北支部創立7周年記念 第3回宮城フォーラム

東日本大震災ふるさとの復興と創生をめざして

日野原先生百歳記念



「新老人の会」会長
聖路加国際病院理事長・名誉院長

日野原重明先生

2011
(平成23年)
12/10^(土)

【開場:12:00~/開演:13:00~/】

■入場料1,000円(税込)

仙台国際センター

[大ホール]

仙台市青葉区青葉山無番地
(TEL265-2450)

主催 (財)ライフ・プランニング・センター
「新老人の会」東北支部

後援 宮城県、仙台市、 河北新報社、
 仙台放送局、 TBC 東北放送、
 ミヤギテレビ、 仙台放送、 ICHB 東日本放送

《第二部》コンサート

ゆずりの葉少年少女合唱団

《第一部》特別講演
苦難にめげず
凜々しく生きる

- お問い合わせ先
「新老人の会」東北支部事務局
〒981-0942 仙台市青葉区貝ヶ森3-30-10
佐藤 電話022-279-5589(夜7時以降)
- 前売券取り扱い所
仙台三越プレイガイド・藤崎プレイガイド



日野原重明先生プロフィール

1911年山口県に生まれる。現在、聖路加国際病院理事長、(財)ライフ・プランニング・センター理事長。1999年文化功労者、2005年文化勲章受章。99歳の現在も臨床医の傍ら、執筆、講演など国内外で活躍。日本の医学、看護学、医療専門職者教育の革新に尽力する。はやくから一般の人々へ健康教育、予防医学、医療の重要性を指摘し、「生活習慣病」という名称を産み出すなど、常に日本の医療の最先端でリードしている。

2000年には「新老人運動」を提唱し、この趣旨に賛同する方々の集まり「新老人の会」を発足。日本ばかりではなく世界に展開することに精力を注いでいる。著書は一般向けだけでも300冊を超え、「死をどう生きたか」「生き方上手」「10歳のきみへ」「今伝えたい大切なこと」「いのちのメッセージ」「100歳は次のスタートライン」など多数。

ゆずりの葉少年少女合唱団プロフィール

—— 私たちの祖先が、伝え残してくれたわらべうた。このわらべうたを歌い、遊ぶことを通して、仲間の存在を感じながら歌い合わせる合唱団を創りたい ——

ゆずりの葉少年少女合唱団は、このような願いをもって、2002年6月に創団、塩釜市社会教育団体に認定される。

2003年より、ユネスコ・コーラスの集いに毎年参加、塩釜市公民館祭り、多賀城市民音楽祭等、数々のコンサートに出演し、地域に根ざした活動をしている。2005年～2009年まで、毎年「定期演奏会」を塩釜市遊ホール、又は多賀城市民文化センターにて開催。2008年、全日本合唱連盟に加入し、宮城県合唱際にて審査員特別賞を受賞。2010年東北電力アクアホールにて「ゆずりの葉コンサート」を開催。

今回の東日本大震災後、七ヶ浜、塩釜、亘理など被災地での復興コンサートやチャリティーコンサートに数多く出演し、被災地へ元気な歌声を届けている。

11月には、宮城県を代表し、第26回国民文化祭・京都2011に出演する。

「新老人の会」とは

「新老人の会」とは、日野原先生が提唱された「新老人運動」の趣旨に賛同する方々の集まりとして2000年に発足しました。

〈会員数〉11,800名 〈支部〉国内 37支部 海外 2支部

モットー

1. 愛し愛されること 2. 創じめること 3. 耐えること

一つの使命

子どもたちに平和と愛の大切さを伝えること

目 標

1. 自 立 自立とよき生活習慣やわが国のよき文化の継承
2. 世 界 平 和 戦争体験を生かし、世界平和の実現
3. 自分を研究に 自分の健康情報を研究に活用
4. 会 員 の 交 流 会員がお互いの間に新しいともを求め、
会員の全国的な交流を図る
5. 自 然 に 感 謝 自然への感謝とよき生き方の普及

青春とは、年齢ではなく心のもち方です。100歳でお元気な日野原先生のパワーをいただき、いつまでも心豊かに生き甲斐の感じられる生き方を全うしたい方々の入会をお待ちしています。

お問い合わせ 「新老人の会」東北支部事務局
〒981-0942 仙台市青葉区貝ヶ森3-30-10
佐藤 電話 022-279-5589 (夜7時以降)
E-mail : m-sato@tfu-mail.tfu.ac.jp